

第116回運営委員会概要 6月20日(水) 18:30～21:10

- ◆会場：柏崎原子力広報センター 2F研修室
- ◆出席運営委員：新野・川口・佐藤(正)・三宮・武本(和)・徳永・前田運営委員
・・・7名
- ◆出席委員：浅賀・佐藤(幸)・・・2名
- ◆オブザーバー：保安院／飯野所長・吉村検査官・熊谷検査官 エネ庁／磯部所長
柏崎市／関矢係長・野澤主任
東京電力／長野副所長・西田技術担当・佐野課長・山本主任
- ◆事務局：広報センター／須田業務執行理事 石黒主事

視点55号内容について(107回定例会分)

- ・講師の立場をもう少しわかりやすく表記する(SPEEDIとの関わりが住民にもわかるような表現)(事務局で検討)
- ・今回の内容はSPEEDIの勉強会のことを中心にまとめる。Q&AはSPEEDIに関連する内容でまとめ縮小。勉強会の内容や役割なども解りやすく盛り込むよう改善する。
- ・事務局案をさらに委員で確認、改善を行い次回運営委員会で再検討、確認する。

定例会の資料、委員からの質問、回答の扱いについて

〈委員〉前回定例会で、福島事故時に東京電力社員や家族は、住民が避難する前にバスで避難していた旨の国会事故調での発言に対して、東京電力に事実を確認したいと質問した。

それに対し東京電力は、社員や家族に対して優先的な避難指示やバスの手配の事実はないと回答した。さらに国会事故調での発言内容は、すべて伝聞の形になっているとの回答があり、あたかも何もなかったような印象だけが残った。

このようなやりとりでは事実が確認されない。本当はどうだったのか、この問題を地域の会で扱うべきかどうかは会に一任したいと思うが、今後も継続して追求していくべき内容だと思っている。

〈議長〉定例会時に委員から出される文書での質問に対し、時間の制約上、運営委員会の要請でもあり、オブザーバーからの文書回答が増えてきた。質問やその回答が会議の印象に残らなくなると懸念される。

地域の会として委員から出された質問やその回答を、全員が認識するということが少なくなり、質問のやりとりが個人的なこととして捉えられてしまうことに不安を覚える。情報誌「視点」にも反映されにくくなるのではないか。

情報を共有するという会の特性上、委員が共通認識を持つためにはどうしていくのがよいと思うか。

〈委員〉議事録以外の資料はすべてホームページに掲載されているのではないか。

〈事務局〉議事録、オブザーバーからの資料、委員の文書質問とそれに対する回答、すべてホームページに掲載している。

〈議長〉委員は、それを読まない限り認識できない。

〈委員〉委員には資料としてすべて配っている。

〈委員〉それを運営委員会で、文書回答を求める場合と、口頭で質問して回答を求める場合とに精査すればよいのではないか。

(委員了解)

次回以降定例会の内容について（7月、8月、9月）

- 〈議長〉7月の定例会の内容について意見をお願いしたい。
事故調査委員会の評価はいつ頃出されるのか。
- 〈東京電力〉当社の事故調査報告書の最終版がまとまったので、7月の定例会で報告させていただきたい。
- 〈委員〉国会事故調は6月中を目指していると言っていた。項目やそれぞれの違いを確認したい。すべてが出た時点でまとめて報告を聞いてはどうか。
- 〈委員〉月に1回、2時間ほどの定例会ですべての説明を聞くだけでも時間がかかる。定例会で議論できるボリュームではないと思う。
- 〈委員〉報告書が出た順に説明を求めるほうが現実的ではないか。
- 〈議長〉定例会は月に1回なので、タイムリーな議論は重要ではないか。7月の定例会では東京電力からの報告を聞いたほうが良いのではないか。
- 〈委員〉前回、東京電力から説明のあった「総合特別事業計画」についての議論や、市から報告のあった福島の、自治体等調査結果についての議論を持ち越したまま。これを7月定例会で優先しなければならないのではないか。
- 〈東京電力〉当社の事故調査報告書の内容は、福島事故の原因とそれについて今後の安全対策や考え方。40分くらい時間をいただきたいと考えている。
- 〈委員〉時間が短く、議論する内容も多い定例会の中で、東京電力の報告にそれほど時間をかけるのはおかしい。自社の説明会で時間をかけてすべき。説明を工夫するなど、もう少し時間を短縮すべきではないか。
- 〈東京電力〉国会の事故調も、政府の事故調も、福島事故の調査という視点での報告。当社の事故調の報告は、事故調査結果に加えて安全対策の内容を報告するもの。
- 〈委員〉説明の時間を短くすると、他の委員から「これはどうなっている」「この説明がなかった」などの指摘も出るだろう。説明時間を一概に短縮すればいい問題ではないと思う。
説明はしっかりとやってもらいつつ、委員の発言時間もなんとか確保して会を運営していくべきではないか。
- 〈議長〉次回定例会では、前回の議論も行いつつ東京電力から事故調の報告書の説明を、また、規制庁の報告は、今公表されている内容について文書で報告していただくことでどうか。
- （委員了解）
- 〈委員〉視察研修の報告は、議論の前に簡潔にしてもらい、詳細は文書で配布してもらったほうがよい。
- （委員賛成）

視察研修について

（事務局より参加人数、バスの手配、昼食等説明）

- 〈議長〉委員から寄せられた視察先への質問について。運営委員会で精査すべきと思う。内容について意見をお願いしたい。
- 〈柏崎市〉福島の「おだがいさまセンター」は社会福祉協議会が中心の施設。質問の内容によっては市役所で話を聞くほうが良いかもしれないと思う。
- 〈委員〉質問内容は委員が把握していればいいことであって、先方（見学先）からの説明や案内に従うことにしてはどうか。
- （委員賛成）
- 〈柏崎市〉それでは、場所はおだがいさまセンターで、市の方と住民の方に来ていただいて

説明を聞いたり、説明の中から質問をしたりということで調整したい。
〈保安院〉質問の関心事項は、「防災」「情報伝達」などが多い。他にもこのような内容に関心があるということで県にも伝えておきたい。

【決定事項】

〈7月定例会タイムスケジュール（案）〉

| | |
|-------------|---|
| 18:30～19:15 | 前回からの動き（東京電力、保安院、エネ庁、行政） |
| 19:15～20:15 | 前回定例会内容（総合特別事業計画、福島事故時の被災自治体等調査結果）について質問・意見 |
| 20:15～21:00 | 福島原子力事故調査報告書について（東京電力） |
| 21:00～21:15 | その他 |

今後の日程について

| | | |
|------------|----------|--------|
| 第109回定例会 | 7月 4日（水） | 18:30～ |
| 第117回運営委員会 | 7月11日（水） | 18:30～ |
| 視察研修（福島） | 7月18日（水） | 日帰り |
| 第110回定例会 | 8月 1日（水） | 18:30～ |
| 第111回定例会 | 9月 5日（水） | 18:30～ |